

2025年度（10月入学）

名古屋大学大学院国際開発研究科
博士後期課程

Doctoral Program

Application Guidebook

for the Academic Year 2025

学生募集要項

October Enrollment

Graduate School of International Development
(GSID)

NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学大学院
国際開発研究科

2025年度学年暦

月	日	事 項
2025年	2日	新入生向けガイダンス
4月		新入生履修登録期間 (9:00~3日11:30まで)
	5日	入学式
	9日	履修登録確認1回目
	10日	履修登録修正期間 (~17日13:00まで)
	11日	春学期授業開始
	中旬	定期健康診断
	25日	履修登録確認2回目 (新入生含む)
	下旬	学修計画書提出
5月	1日	名古屋大学記念日
	17日	春学期授業予備日
	下旬	春学期分授業料納入期限
6月	5日	名大祭(5日午後~8日)
	13日	9月修了者・博士学位論文提出期限
7月	4日	9月修了者・修士学位論文提出期限
	5日	春学期授業予備日
	18日	9月修了者・修士学位論文口述試験
	21日	春学期授業日
	30,31日	春学期火曜の授業日
	31日	春学期授業終了
8月	上旬	集中講義(~9月上旬)
	8日	夏季休業(~9月30日)
9月	12日	在学生履修登録入力期間 (~17日17:00)
	26日	履修登録確認1回目 (新入生除く)
	29日	秋季卒業式・修了式
	30日	10月入学者・新入生ガイダンス
10月	1日	秋季入学式
	2日	秋学期授業開始
	3日	新入生履修登録・在学生履修登録修正期間 (~10日13:00まで)
	13日	秋学期授業日
	23日	履修登録確認2回目 (新入生含む)
	下旬	学修計画書提出 (10月入学者)
11月	8日	秋学期授業予備日
	下旬	秋学期分授業料納入期限
12月	5日	3月修了者・博士学位論文提出期限
	25,26日	秋学期月曜の授業日
	26日	年末授業最終日
	27日	秋学期授業予備日
	28日	冬季休業(~1月7日)
2026年	8日	年始授業開始日
1月		秋学期月曜の授業日
	9日	3月修了者・修士学位論文提出期限
	23日	秋学期授業終了
	29日	3月修了者・修士学位論文口述試験
3月	中旬	授業料免除申請締切(2026年度分)
	下旬	在学生履修登録入力期間(次年度春学期)
	25日	卒業式・修了式

Academic Calendar 2025

Date	Events
April 2, 2025	GSID Guidance for New Students
	Class Registration Period for New Students (from 9:00 until 11:30 on April 3)
April 5	Spring Entrance Ceremony
April 9	Class Registration Confirmation (First time)
April 10	Class Registration Correction Period (until 13:00 on April 17)
April 11	Spring Semester Classes Start
Mid April	Student Health Checkup
April 25	Class Registration Confirmation (Second time) including new students
Late April	Submission of Research Plan
May 1	Nagoya University's Anniversary
May 17	Make-up Class Day for Spring Semester
Late May	Spring Semester Tuition Fees Payment Deadline
June 5	University Festival "Meidai-Sai"(5th afternoon to 8th)
June 13	PhD Dissertation Submission Deadline for September Graduates
July 4	Master's Thesis Submission Deadline for September Graduates
July 5	Make-up Class Day for Spring Semester
July 18	Master's Thesis Oral Defense for September Graduates
July 21	Class Day for Spring Semester
July 30,31	Class Day of Tuesday for Spring Semester
July 31	Spring Semester Classes End
Early August	Intensive lectures (until early September)
August 8	Summer Holidays (until September 30)
September 12	Class Registration Period for Current Students (until 17:00 on September 17)
September 26	Class Registration Confirmation (First time) except for new student
September 29	Graduation Ceremony for September Graduates
September 30	GSID Guidance for New Students enrolled in October
October 1	Fall Entrance Ceremony
October 2	Fall Semester Classes Start
October 3	Class Registration Period for New Students and Class Registration Correction Period for Current Students (until 13:00 on October 10)
October 13	Class Day for Fall Semester
October 23	Class Registration Confirmation (Second time) including new students
Late October	Submission of Research Plan (Fall enrollees)
November 8	Make-up Class Day for Fall Semester
Late November	Fall Semester Tuition Fees Payment Deadline
December 5	PhD Dissertation Submission Deadline for March Graduates
December 25,26	Class Day of Monday for Fall Semester
December 26	Last Class day of 2025
December 27	Make-up Class Day for Fall Semester
December 28	Winter holidays (until January 7)
January 8, 2026	Classes Start
	Class Day of Monday for Fall Semester
January 9	Master's Thesis Submission Deadline for March Graduates
January 23	Fall Semester Classes End
January 29	Master's Thesis Oral Defense for March Graduates
Mid March	Tuition Fee Exemption Application Deadline (for AY2026)
Late March	Class Registration Period for Current Students (Spring Semester of the Next Academic Year)
March 25	Graduation Ceremony for March Graduates

名古屋大学大学院国際開発研究科
博士後期課程

アドミッション・ポリシー
(入学者受入方針)

本研究科では「国際開発研究科のミッション」に示された理念・目標のもとに、自立的
研究・実務能力を備え、国際開発協力の進展に資する研究者及び高度専門職業人を養成し
ています。

本研究科では、研究科のミッションを達成するため、以下の人材を求めます。

- ① 国際社会・各国政府・市民が直面する諸課題について幅広い知識を獲得し、特定の課題に対
し、社会科学の理論と手法を用いて実証的に研究し、高度な専門的研究能力を身につける意
欲をもつ人
- ② 各国の国づくりや地域づくりにむけた政策立案やその実施過程において、国際社会と協力
しつつ、高度な研究力を発揮して、専門的な貢献を果たす意欲をもつ人
- ③ 世界各国の政府・大学、国際機関、企業、NGO、市民とのネットワークを構築し、持続可
能な開発と公正な社会の実現に資する研究成果を、地球レベルで発信する意欲をもつ人

【重要】 出願方式の変更：インターネット出願について

出願はインターネットを使用します。出願に必要なパソコンやプリンター等のデバイ
ス、メールアドレス、顔写真データ、支払方法、提出書類等を確認してから出願してくだ
さい。また出願前には、マイページを登録することになりますので、時間には余裕を持っ
て出願をおこなってください。なお、メールアドレスについては、大学から入学試験に関
する重要なお知らせが配信されることがあります。変更や削除の可能性がなく、日常的に
確認しやすいものを準備してください。

(注意)

この学生募集要項において、日時はすべて日本時間です。

目 次

2025 年（10 月入学） 博士後期課程学生募集要項

I. 一般選抜	1
出願資格・手続について	6
A. 名古屋大学大学院国際開発研究科（GSID）博士前期課程を 2025 年 9 月修了見込みの者	7
B. 修士論文を日本語または英語で提出して修士の学位を授与された者または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者	9
C. 修士論文を日本語または英語以外の言語で提出して修士の学位を授与された者または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者	13
D. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者	17
E. 修士の学位を授与されていない者または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みのない者	20

I. 一般選抜（10月入学）

2025年度本研究科博士後期課程に進学または入学させる学生を下記により募集する。

1. 募集人員

国際開発協力専攻

8名程度

2. 出願及び願書受付期間

出願は次の3つの段階を順番にすべて踏むこと。

(1) インターネット出願入力

受付期間：2025年5月19日（月）0：00～6月5日（木）12:00（正午）

インターネット出願システムの入力期限を過ぎたら入力できない。

詳細は以下の「4. 出願手続（1）インターネット出願システムによる出願登録と検定料の支払い」を確認すること。

(2) 検定料の払込

受付期間：2025年5月19日（月）0:00～6月5日（木）12:00（正午）

詳細は以下の「4. 出願手続（1）インターネット出願システムによる出願登録と検定料の支払い」及びp.2の「5. 検定料の払込方法」を確認すること。

(3) 出願書類受付

受付期間：2025年6月2日（月）9:00～6月6日（金）16:00 必着

- 提出方法は電子メール（email）添付及び簡易書留郵便とする。詳細はp.2の「4. 出願手続（2）簡易書留による郵送及び電子メール添付による送付」並びにp.7以降の「提出物チェックシート」を確認すること。
- 電子メール・郵便ともに、出願受付期限までに到着した場合に限り、出願を受理する。一方でも遅れた場合、受理しない。

3. 受け入れ教員の同意

出願書類を提出する前に、国際開発研究科の教員（教授または准教授）から、もし合格した場合に入学後指導教員となることについて同意を得ておかなければならない。

国際開発研究科教員については以下を参照すること。

国際開発研究科教員一覧

<https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/ja/general/members/>

名古屋大学教員プロフィール

<http://profs.provost.nagoya>

[u.ac.jp/view/search?m=affiliation&l=ja&a2=0000045&s=1&o=affiliation](http://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/view/search?m=affiliation&l=ja&a2=0000045&s=1&o=affiliation)

4. 出願手続

(1) インターネット出願システムによる出願登録と検定料の支払い

- 出願手続は、インターネット出願システムでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期限までに必要な提出書類などを提出することにより、完了となる。
- インターネット出願での出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはならない。
- 支払期限は、インターネット出願登録日を行った日を含め4日間とする。支払期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的にキャンセルとなるので再登録すること。
- 6月2日（月）以降にインターネット出願システムへ登録した場合の支払期限は6月5日（木）12:00

となるので注意すること。

(2) 簡易書留郵便による郵送及びメール添付による送付

提出方法は、出願書類に応じて郵送であるか、電子メール (email) 添付送信であるかが異なる。郵送と電子メール添付送信が願書受付期間内に到着した場合に限り、願書を受理する。一方でも遅れた場合、受理しない。

・ 郵送が必要な出願書類：

p. 7 以降の「提出物チェックシート」において指定された出願書類は、簡易書留郵便により郵送すること。郵送の際は、インターネット出願システムから印刷する「出願用宛名用紙」をカラー印刷し、角形 2 号の封筒 (A4 が入るサイズ) に貼りつけて、出願期限 (6 月 6 日 (金) 16:00) までに必着で送付すること。

なお、海外在住者は EMS, DHL 等、追跡可能な方法で郵送すること。

・ メール添付により提出が必要な出願書類：

郵便によらない出願書類は、電子ファイル (PDF ファイルまたは MS Word ファイル) にて gsidexam@t.mail.nagoya-u.ac.jp へてに送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。メール添付により提出された文書は、いずれも剽窃チェックを行う。

なお、出願所定様式は下記のウェブサイトからダウンロードして入手すること。

<https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/application/>

- ※ どの出願書類を郵送するかメール添付するかについて、詳しくは p. 7 以降の「提出物チェックシート」を参照すること。
- ※ 出願状況はインターネット出願システム上で確認すること。
- ※ 出願書類に不備等がある場合はメールで連絡するので、gsidexam@t.mail.nagoya-u.ac.jp を受領できるように設定しておくこと。
- ※ 出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めない。
- ※ 出願書類の偽造・捏造・虚偽記載・改ざんや偽情報の登録等の不正行為が判明した場合は、出願資格の喪失又は入学決定後でも入学許可を取り消すことがある。
- ※ 出願や入学に係る諸手続は、本学指定のシステムや方法により行うので、悪質な代行業者の誘いに安易にのらないよう十分注意すること。

5. 検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000 円 ※別途、払込手数料が必要となる。

なお、国費外国人留学生として入学する予定の者は、検定料を必要としない。

(2) 払込方法

入学検定料の支払いは、以下のいずれかの方法で行うこと。

<国内在住者・海外在住者の両方対応可能>

・クレジットカード

<日本国内在住者のみ対応可能>

・ネットバンキング

・コンビニエンスストア

・Pay-easy 対応銀行 ATM

(3) 検定料を返還する場合

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還することがある。なお、返還にかかる振込手数料は差し引く。詳細については、別紙「インターネット出願の流れ」を確認すること。

- ① 検定料納入後、出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合
- ② 検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行われる。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要するので、検定料の納入は慎重に行うこと。

※ 返還請求方法については、名古屋大学ウェブサイト (<http://www.nagoya-u.ac.jp/>) → 「入学案内」 → 「入試情報を知りたい」 → 「大学院入試」 → 「入学検定料の支払い」を確認すること。

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置については名古屋大学ホームページの下記サイトでご確認すること。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/saigai/index.html>

6. 接続テスト

オンライン接続に不安があるなどで接続テストを希望する場合は、以下の日時に接続テストを行うので、希望者は出願時に申し出ること。ただし、接続テストへの参加は試験当日にトラブルが生じた場合の救済措置を保証するものではない。

- (1) 日程：2025年7月17日（木）10:30
- (2) 言語：日本語または英語で行う。
- (3) 方法：詳細は、出願後、電子メールにより希望者にのみ通知する。

7. 選考実施の日程及び方法

国際開発研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、国際開発学の研究を行う上での基礎学力、専門知識を提出書類により評価し、国際開発学の研究を通して世界の諸課題に取り組む強い意欲を評価するために口述試験を用いて、総合的に選抜を行う。

- (1) 日程 2025年7月22日（火）
(予備日：2025年7月23日（水）8:45-10:15)
- (2) 言語 日本語または英語で行う。
- (3) 方法 オンラインによる。指定時間は7月17日（木）以降に、電子メールにより個別に通知する。試験時間は約45分（出願資格Aの出願者は約30分）、修士学位論文と研究計画書に基づいて行う。不正防止の観点から、同室に他の人はいないようにすること。面接に使う部屋の全面をカメラで映すことによってこの点を確認するので、留意すること。また、バーチャル背景や背景ぼかし機能の利用は認めない。

※ 不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

◇国際開発研究科ウェブサイト <https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/>

8. 合格者発表

- (1) 日程 2025年7月25日(金)
- (2) 通知 研究科ウェブサイト合格者の受験番号を掲載したのち、合格者へのみ合格通知を郵送する。電話による照会には一切応じない。合格通知には入学意思確認の手続案内が同封されているので、合格者は全員、案内に従い、期限までに手続きを終えること。

9. 入学手続

詳細については別途通知する。

(1) 入学手続提出期限

2025年9月中旬

(2) 入学時に要する学生納入金

- ① 入学料 282,000円
- ② 授業料 6か月分(2025年10月-2026年3月) 267,900円(年額535,800円)
- ③ 学生災害傷害保険料及び賠償責任保険料 3年分 2,600円~28,100円
(詳細は入学手続時に案内する。)

※ 他の大学の学籍を有する者は原則として入学が許可されない。ただし、他の大学を休学する場合はこの限りではない。特別の事情がある時は、許可される場合があるので、合格後速やかに、かつ入学手続の前に教務課・国際開発研究科担当に問い合わせること。

※ 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金が適用される。

※ 合格者のうち、有職者については入学手続時に所属長の承諾書または承諾書に代わる自己責任を明確にした書類の提出を求める。

10. 障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者

(1) 特別な配慮に関する相談

障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ最終ページの問合せ先(文系教務課・国際開発研究科入試担当)と相談すること。

① 相談の時期: 2025年5月9日(金) 16:00まで

② 提出書類

以下の書類を提出すること。

・障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を記した要望書

障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を具体的に記載したもの。A4判用紙に横書で記入すること。様式は自由。

・医師の診断書

障がい等に関する医師の診断書。受診日から3か月以内のもの。写し(コピー)でもかまわない。

・その他の書類

上記以外の書類を適宜添付してよい。

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合、出願期間終了日時までに問い合わせること。

(2) 出 願

文系教務課・国際開発研究科入試担当と相談のうえ、出願することができる。出願手続は p.6 以降を参照のこと。

1 1. 「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理について

- (1) 名古屋大学（東海国立大学機構）では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しております。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご注意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。なお、該当者には、個別に通知します。また、この場合も既納の検定料は返還しません。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

- (2) 「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化について

人文・社会科学の研究のみに関わる場合、以下は必要ありません。

理科学系分野との融合領域に関わる場合にのみ、例外的に必要な手続きとなります。

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関による教職員及び学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本学に出願の際は、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、合格時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

「類型該当性の自己申告書」及び「類型該当判断のフローチャート」

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/form1_export-control_jp

本件について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

「類型該当性の自己申告書」が出願締切日に間に合わない場合は、準備でき次第提出してください。その他の出願に必要な書類は、必ず出願締切日に提出してください。

1 2. そ の 他

- (1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。
- (2) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

一般選抜出願資格・手続について

- A. 国際開発研究科（GSID）博士前期課程を2025年9月修了見込みの者 → p. 7へ。
- B. 修士論文を日本語または英語で提出して修士の学位を授与された者または2025年9月30日までに授与される見込みの者 → p. 9へ。
- C. 修士論文を日本語または英語以外の言語で提出して修士の学位を授与された者または2025年9月30日までに授与される見込みの者 → p. 13へ。
- D. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または2025年9月30日までに授与される見込みの者 → p. 17へ。
- E. 修士の学位を授与されていない者または2025年9月30日までに授与される見込みのない者 → p. 20へ。

A. 名古屋大学大学院国際開発研究科（GSID）博士前期課程を2025年9月修了見込みの者

1. 出願書類

国際開発研究科博士前期課程を2025年9月に修了見込みの者は、以下の書類のみ提出すること。

(1) 全員が提出する書類

① 志願票及び写真票

- ・インターネット出願システムから、A4サイズで片面カラー印刷すること。
- ・出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データ（2MBまで）を用意し、インターネット出願システムからアップロードすること。
- ・インターネット出願システムに入力した住所に合格通知等を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し出ること。

② 履歴書（ダウンロードした所定様式）

必要事項を記入すること。

③ 研究計画書（書式自由）

A4版用紙に和文5,000字以内、または英文2,000語以内。

(2) 提出が任意の書類

⑨ 研究業績

⑩ 研究業績の要旨

⑪ 研究業績リスト

修士学位請求論文以外に、研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語3,000字または英語1,200語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の1章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

⑫ 語学能力試験の成績通知書の写し

英語能力試験（TOEFL, TOEIC, IELTS もしくは Duolingo）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し（コピー）。

2. 検定料

免除する。

A. 名古屋大学大学院国際開発研究科（GSID）博士前期課程を2025年9月修了見込みの者

提出物チェックシート

ここに✓をいれる

		提出物	対象者	提出方法
	①	志願票及び写真票（インターネット出願システムからプリントアウト）	全員	郵送*
	②	履歴書（国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード）	全員	Email
	③	研究計画書	全員	Email
	⑨	研究業績	任意	Email
	⑩	研究業績の要旨	任意	Email
	⑪	研究業績リスト	任意	Email
	⑫	語学能力試験の成績通知書の写し	任意	Email

※ 郵送による提出物は、文系教務課・国際開発研究科入試担当窓口での提出も可能。

B. 修士論文を日本語または英語で提出して修士の学位を授与された者または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者

1. 出願資格

次の各号の一つに該当する者

日本語または英語で修士学位請求論文を提出し、

- ① 本学大学院もしくは日本の他の大学院で修士の学位または専門職学位を授与された者、または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者

2. 出願書類（共通）

国際開発研究科博士前期課程を 2025 年 9 月に修了見込みの者は、A (p. 7) を参照すること。

国際開発研究科博士前期課程を 2025 年 9 月に修了見込みの者以外の進学・入学志願者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。

(1) 全員が提出する書類

① 志願票及び写真票

- ・インターネット出願システムから、A4 サイズで片面カラー印刷すること。
- ・出願前 3 か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データ (2MB まで) を用意し、インターネット出願システムからアップロードすること。
- ・インターネット出願システムに入力した住所に合格通知等を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し出ること。

② 履歴書（ダウンロードした所定様式）

必要事項を記入すること。

③ 研究計画書（書式自由）

A4 版用紙に和文 5,000 字以内または英文 2,000 語以内。

(2) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

④ パスポートの写し

日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写しを提出すること。

⑤ 在留カードの両面の写し

日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写しを提出すること。

(3) 提出が任意の書類

⑥ 推薦書

最終出身大学院の指導教員、所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。ただし、出願者が提出する場合は、厳封されたものを同封し郵送すること。

⑦ 自薦書

⑧ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

実務家または研究者としての経験を有する場合のみ。A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。

⑨ 研究業績

⑩ 研究業績の要旨

⑪ 研究業績リスト

修士学位請求論文以外に、研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

⑫ 語学能力試験の成績通知書の写し

英語能力試験（TOEFL, TOEIC, IELTS もしくは Duolingo）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し。

3. 出願書類 (B用)

上記出願書類に加えて以下の書類を提出する。

⑬ 出身大学院の成績証明書

最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。

⑭ 修士学位証明書または取得見込証明書

最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。

⑮ 修士学位請求論文の写し

⑯ 修士学位請求論文の要旨

和文 3,000 字または英語 1,200 語程度。

4. 修士学位請求論文の提出

(1) 修士学位請求論文が未完成の場合

所属研究科の修士学位論文提出締め切日の設定により、出願時に修士学位請求論文が未完成の場合は、出願時に和文 3,000 字または英文 1,200 語程度の論文要旨及び所属研究科長あるいは指導教員による修士学位論文提出締切日を証明する書類を提出し、完成させた修士学位論文の写し及び論文要旨を遅くとも 2025 年 7 月 4 日（金）16:00 までに提出すること。

⑰ 未完成の論文要旨

⑱ 修士学位請求論文提出締め切りを証明する書類

(2) 修士論文と異なるテーマを研究テーマにする場合

提出する修士学位請求論文が入学後の研究テーマ以外の場合、当該修士学位請求論文に加えて、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出しなければならない。公刊されている必要はない。その場合、日本語 10,000 字以上または英語 4,000 語以上であることを要す。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、論文リストも提出すること。論文リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。書籍の一章である場合、編集者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。研究業績（出願書類⑨・⑩・⑪）を提出する場合は不要。

また、研究テーマを変更する理由を示した理由書を提出すること（書式自由）。

⑱ 修士学位請求論文に代わる研究論文

日本語 10,000 字または英語 4,000 語以上であることを要す。

⑲ 研究論文の要旨

⑳ 論文リスト

㉑ 変更理由書

(3) 修士論文を修正した場合

提出済みの学位請求論文を修正することができるが、その場合、修正後の論文を提出済み修士学位請求論文とともに提出すること。

㉒ 修士論文の修正版

B. 修士論文を日本語または英語で提出して修士の学位を授与された者または 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者

提出物チェックシート

└─ ここに✓をいれる

	提出物	対象者	提出方法
①	志願票及び写真票 (インターネット出願システムからプリントアウト)	全員	郵送 ^{※1}
②	履歴書 (国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード)	全員	Email
③	研究計画書	全員	Email
④	パスポートの写し	外国人	Email
⑤	在留カードの両面の写し	日本国内居住の外国人	Email
⑥	推薦書	任意	郵送 ^{※1,2}
⑦	自薦書	任意	Email
⑧	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書	任意	Email
⑨	研究業績	任意	Email
⑩	研究業績の要旨	任意	Email
⑪	研究業績リスト	任意	Email
⑫	語学能力試験の成績通知書の写し	任意	Email
⑬	出身大学院の成績証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
⑭	修士学位証明書または取得見込証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
⑮	修士学位請求論文の写し	全員	Email
⑯	修士学位請求論文の要旨	全員	Email
⑰	未完成の論文要旨	該当者	Email
⑱	修士学位請求論文提出締め切りを証明する書類	該当者	Email
⑲	修士学位請求論文に代わる研究論文	該当者	Email
⑳	研究論文の要旨	該当者	Email
㉑	論文リスト	該当者	Email
㉒	変更理由書	該当者	Email
㉓	修士論文の修正版	任意	Email

※1 郵送による提出物は、文系教務課・国際開発研究科入試担当窓口での提出も可能。

※2 推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。

C. 修士論文を日本語または英語以外の言語で提出して修士の学位を授与された者または2025年9月30日までに授与される見込みの者

1. 出願資格

次の各号の一つに該当する者

日本語または英語以外の言語で修士学位請求論文を提出し、

- ① 本学大学院もしくは日本の他の大学院で修士の学位または専門職学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者

2. 出願書類（共通）

(1) 全員が提出する書類

- ① 志願票及び写真票
 - ・インターネット出願システムから、A4サイズで片面カラー印刷すること。
 - ・出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データ（2MBまで）を用意し、インターネット出願システムからアップロードすること。
 - ・インターネット出願システムに入力した住所に合格通知等を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し出ること。
- ② 履歴書（ダウンロードした所定様式）
必要事項を記入すること。
- ③ 研究計画書（書式自由）
A4版用紙に和文5,000字以内または英文2,000語以内。

(2) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

- ④ パスポートの写し
日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写しを提出すること。
- ⑤ 在留カードの両面の写し
日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写しを提出すること。

(3) 提出が任意の書類

- ⑥ 推薦書
最終出身大学院の指導教員、所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。ただし、出願者が提出する場合は、厳封されたものを同封し郵送すること。
- ⑦ 自薦書
- ⑧ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書
実務家または研究者としての経験を有する場合のみ。A4版用紙に和文2,000字または英文800

語程度。

- ⑨ 研究業績
- ⑩ 研究業績の要旨
- ⑪ 研究業績リスト

修士学位請求論文以外に、研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

- ⑫ 語学能力試験の成績通知書の写し

英語能力試験（TOEFL, TOEIC, IELTS もしくは Duolingo）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し。

3. 出願書類（C用）

上記出願書類に加えて以下の書類を提出する。

- ⑬ 出身大学院の成績証明書
最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。
- ⑭ 修士学位証明書または取得見込証明書
最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。
- ⑮ 修士学位請求論文の写し
- ⑯ 修士学位請求論文の要旨
和文 3,000 字または英語 1,200 語程度。

- ⑰ 修士学位請求論文の翻訳

日本語または英語以外の言語で修士論文が書かれている場合、当該修士論文の全部もしくは一部を日本語または英語へ翻訳したものを提出しなければならない。要約でもかまわない。日本語 10,000 字または英語 4,000 語以上であることを要す。また、当該翻訳に代えて、修士学位請求論文に代わる研究論文(⑱)を提出する場合は、⑳論文要旨及び㉑論文リストも併せて提出すること。その場合、⑱修士学位請求論文に代わる研究論文は、日本語 10,000 字または英語 4,000 語以上であることを要す。

4. 修士学位請求論文の提出

(1) 修士学位請求論文が未完成の場合

所属研究科の修士学位論文提出締切日の設定により、出願時に修士学位請求論文が未完成の場合は、出願時に和文 3,000 字または英文 1,200 語程度の論文要旨及び所属研究科長あるいは指導教員

による修士学位論文提出締切日を証明する書類を提出し、完成させた修士学位論文の写し及び論文要旨を遅くとも2025年7月4日（金）16:00までに提出すること。

- ⑰ 未完成の論文要旨
- ⑱ 修士学位請求論文提出締め切りを証明する書類

(2) 修士論文と異なるテーマを研究テーマにする場合

提出する修士学位請求論文が入学後の研究テーマ以外の場合、当該修士学位請求論文に加えて、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語3,000字または英語1,200語程度）を提出しなければならない。公刊されている必要はない。その場合、日本語10,000字以上または英語4,000語以上であることを要す。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、論文リストも提出すること。論文リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。書籍の一章である場合、編集者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。研究業績（出願書類⑨・⑩・⑪）を提出する場合は不要。

また、研究テーマを変更する理由を示した理由書を提出すること（書式自由）。

- ⑲ 修士学位請求論文に代わる研究論文
日本語10,000字または英語4,000語以上であることを要す。
- ⑳ 研究論文の要旨
- ㉑ 論文リスト
- ㉒ 変更理由書

C. 修士論文を日本語または英語以外の言語で提出して修士の学位を授与された者または
2025年9月30日までに授与される見込みの者

提出物チェックシート

ここに✓をいれる

	提出物	対象者	提出方法
①	志願票及び写真票 (インターネット出願システムからプリントアウト)	全員	郵送 ^{※1}
②	履歴書 (国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード)	全員	Email
③	研究計画書	全員	Email
④	パスポートの写し	外国人	Email
⑤	在留カードの両面の写し	日本国内居住の外国人	Email
⑥	推薦書	任意	郵送 ^{※1,2}
⑦	自薦書	任意	Email
⑧	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書	任意	Email
⑨	研究業績	任意	Email
⑩	研究業績の要旨	任意	Email
⑪	研究業績リスト	任意	Email
⑫	語学能力試験の成績通知書の写し	任意	Email
⑬	出身大学院の成績証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
⑭	修士学位証明書または取得見込証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
⑮	修士学位請求論文の写し	全員	Email
⑯	修士学位請求論文の要旨	全員	Email
⑰	未完成の論文要旨	該当者	Email
⑱	修士学位請求論文提出締め切りを証明する書類	該当者	Email
⑲	修士学位請求論文に代わる研究論文	該当者	Email
⑳	研究論文の要旨	該当者	Email
㉑	論文リスト	該当者	Email
㉒	変更理由書	該当者	Email
㉔	修士学位請求論文の翻訳	全員	Email

※1 郵送による提出物は、文系教務課・国際開発研究科入試担当窓口での提出も可能。

※2 推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。

D. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または2025年9月30日までに授与される見込みの者

1. 出願資格

次の各号の一つに該当する者

修士学位請求論文を提出せず、

- ① 本学大学院もしくは日本の他の大学院で修士の学位または専門職学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者

2. 出願書類(共通)

進学・入学志願者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。

(1) 全員が提出する書類

- ① 志願票及び写真票
 - ・インターネット出願システムから、A4サイズで片面カラー印刷すること。
 - ・出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データ(2MBまで)を用意し、インターネット出願システムからアップロードすること。
 - ・インターネット出願システムに入力した住所に合格通知等を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し出ること。
- ② 履歴書(ダウンロードした所定様式)
必要事項を記入すること。
- ③ 研究計画書(書式自由)
A4版用紙に和文5,000字以内または英文2,000語以内。

(2) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

- ④ パスポートの写し
日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写しを提出すること。
- ⑤ 在留カードの両面の写し
日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写しを提出すること。

(3) 提出が任意の書類

- ⑥ 推薦書
最終出身大学院の指導教員、所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。ただし、出願者が提出する場合は、厳封されたものを同封し郵送すること。

⑦ 自薦書

⑧ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

実務家または研究者としての経験を有する場合のみ。A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。

⑨ 研究業績

⑩ 研究業績の要旨

⑪ 研究業績リスト

研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

⑫ 語学能力試験の成績通知書の写し

英語能力試験（TOEFL, TOEIC, IELTS もしくは Duolingo）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し。

3. 出願書類 (D用)

上記出願書類に加えて以下の書類を提出する。

⑬ 出身大学院の成績証明書

最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。

⑭ 修士学位証明書または取得見込証明書

最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。

⑮ 修士学位請求論文に代わる研究論文

修士学位請求論文を提出していない場合、研究テーマに関連する研究論文（日本語 10,000 字以上または英語 4,000 語以上）等の写し及びその論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出しなければならない。

⑯ 論文要旨

⑰ 論文リスト

論文リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の一章である場合、編集者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

研究業績（出願書類⑨・⑩・⑪）を提出する場合は不要。

D. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または2025年9月30日までに授与される見込みの者

提出物チェックシート

↓ ここに✓をいれる

	提出物	対象者	提出方法
①	志願票及び写真票 (インターネット出願システムからプリントアウト)	全員	郵送 ^{※1}
②	履歴書 (国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード)	全員	Email
③	研究計画書	全員	Email
④	パスポートの写し	外国人	Email
⑤	在留カードの両面の写し	日本国内居住の外国人	Email
⑥	推薦書	任意	郵送 ^{※1,2}
⑦	自薦書	任意	Email
⑧	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書	任意	Email
⑨	研究業績	任意	Email
⑩	研究業績の要旨	任意	Email
⑪	研究業績リスト	任意	Email
⑫	語学能力試験の成績通知書の写し	任意	Email
⑬	出身大学院の成績証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
⑭	修士学位証明書または取得見込証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
⑰	修士学位請求論文に代わる研究論文	全員	Email
⑳	研究論文の要旨	全員	Email
㉑	論文リスト	全員	Email

※1 郵送による提出物は、文系教務課・国際開発研究科入試担当窓口での提出も可能。

※2 推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。

E. 修士の学位を授与されていない者または2025年9月30日までに授与される見込みのない者

1. 出願資格

(1) 出願可能な資格

次の各号の一つに該当する者は、出願資格を有する。

- ① 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者
- ② 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者
- ③ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2025年9月30日までに授与される見込みの者

(2) 出願資格者

上記各号の一つに該当し、

- ① 研究論文を提出して修士の学位に相当する学位を得た場合、または2025年9月30日までに授与される見込みの場合
⇒ BもしくはC (p. 9, 13) へ行く。
- ② 研究論文を提出することなく修士の学位に相当する学位を得た場合、または2025年9月30日までに授与される見込みの場合
⇒ D (p. 17) へ行く。

(3) 出願資格のない者

上記出願資格に該当しない者であっても、受験資格審査を受けることによって受験が認められる場合がある。

2. 受験資格確認

(1) 受験資格が認められる場合

次の場合には、受験資格確認を受けることによって受験資格が認められる。

- ① 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
日本の大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 本研究科において、個別の受験資格審査により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2025年9月30日までに24歳に達する者

- (2) 出願資格がないと思われる場合、または出願資格の有無を確認したい場合、受験資格確認を申請することができる。

3. 受験資格確認に必要な書類

受験資格確認を希望する者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。

(1) 全員が提出する書類

- ② 履歴書（ダウンロードした所定様式）
必要事項を記入すること。

- ③ 研究計画書（書式自由）
A4 版用紙に和文 5,000 字以内または英文 2,000 語以内。

- ⑬ 大学（学部レベル）または最終出身学校の成績証明書
大学（学部レベル）または最終出身学校発行のもの。写し（コピー）は不可。

- ⑭ 大学（学部レベル）または最終出身学校の卒業証明書
大学（学部レベル）または最終出身学校発行のもの。写し（コピー）は不可。

- ⑲ 受験資格審査願（ダウンロードした所定様式）
必要事項を記入すること。

(2) 提出が任意の書類

- ⑥ 推薦書
所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。ただし、出願者が提出する場合は、厳封されたものを同封し郵送すること。

- ⑦ 自薦書

- ⑧ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書
A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。

- ⑨ 研究業績
- ⑩ 研究業績の要旨
- ⑪ 研究業績リスト
- ⑳ 実務経験の成果
研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合は、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。公刊されている必要はない。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。
実務経験がある場合、その成果をまとめたもの（レポート等）があれば提出することができる。

㊸ 研究歴証明書（ダウンロードした所定の様式）

研究歴を有する者のみ提出すること。所属機関の長等が証明したもの

4. 受験資格確認手続

(1) 受験資格確認申請期間

2025年5月9日（金）午後4時〔必着〕まで
受験資格確認のために、検定料の支払いは不要である。

(2) 審査結果の通知

受験資格審査による結果は、概ね2週間以内に本人あてに通知する。

5. 受験資格が確認された者

受験資格が確認された者は、願書受付期間（p. 1を参照）に下記の書類を、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。詳細は、p. 7以降を参照のこと。

(1) 全員が提出する書類

① 志願票及び写真票

(2) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

- ④ パスポートの写し
- ⑤ 在留カードの両面の写し

(3) 提出が任意の書類

⑫ 語学能力試験の成績通知書の写し

E. 修士の学位を授与されていない者または2025年9月30日までに授与される見込みのない者

提出物チェックシート

(1) 事前審査用

ここに✓をいれる

		提出物	対象者	提出方法
	②	履歴書 (国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード)	全員	Email
	③	研究計画書	全員	Email
	⑥	推薦書	任意	郵送 ^{※1,2}
	⑦	自薦書	任意	Email
	⑧	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書	任意	Email
	⑨	研究業績	任意	Email
	⑩	研究業績の要旨	任意	Email
	⑪	研究業績リスト	任意	Email
	⑬	大学または最終出身学校の成績証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
	⑭	大学または最終出身学校の卒業証明書 (原本)	全員	郵送 ^{※1}
	⑳	受験資格審査願 (国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード)	全員	郵送 ^{※1}
	㉑	研究歴証明書 (国際開発研究科ウェブサイトからダウンロード)	任意	郵送 ^{※1}
	㉒	実務経験の成果	任意	Email

※1 郵送による提出物は、文系教務課・国際開発研究科入試担当窓口での提出も可能。

※2 推薦者が、郵送または電子メールに添付して直接提出することも可能。

(2) 出願用

ここに✓をいれる

		提出物	対象者	提出方法
	①	志願票及び写真票 (インターネット出願システムからプリントアウト)	全員	郵送 ^{※1}
	④	パスポートの写し	外国人	Email
	⑤	在留カードの両面の写し	日本国内居住の外国人	Email
	⑫	語学能力試験の成績通知書の写し	任意	Email



名古屋大学大学院国際開発研究科

Graduate School of International Development, Nagoya University

問合せ・願書提出先：

名古屋大学文系教務課

国際開発研究科入試担当（文系総合館 1 階）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)

TEL 052-789-4957

Email gsidexam@t.mail.nagoya-u.ac.jp

<https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/>